

特集 みんなで考えよう “市町村合併”

# 『羽島郡四町の合併に関する調査研究報告書』の概要

羽島郡町村合併問題研究会では、郡四町が合併した場合の経済効果などについて、民間シンクタンクに委託して、調査研究を進めてきました。その結果は『羽島郡四町の合併に関する調査研究報告書』としてまとめ、4月5日に開催された同研究会主催の「市町村合併問題研修会」で報告されたことは、先月号でお伝えしたとおりです。今月号では、その報告書の概要をお伝えします。報告書では、郡四町が合併した場合の行政サービス水準や財政状況、公共施設の整備水準などについて比較検討し、合併がもたらす直接的・間接的な効果を提示したほか、新しい市の将来ビジョンを提言しています。

## 合併にともなう経済効果

市町村合併は、住民の皆さんにさまざまな経済効果をもたらします。それらを整理すると次のようになります。

自治体財政の効率化

合併によって、特別職(町長、

助役、収入役)や議員、各種委員の数は減少するため、その給与や報酬が削減できます。職員についても、管理部門を統合して効率化を図ることにより、長期的にみて人件費が削減できるほか、事務費や維持補修費の削減も期待できます。こうして節減した経費を、さらなるサービス向上や施設整備へと投資できるようにになり、住民の皆さんに間接的な効果をもたらします。

また、財政基盤が強化されることによつて安定的な財政運営が可能になるほか、合併特例法(市町村の合併の特例に関する法律)に基づく国からの財政支援が適用されるため、新しいまちづくりにより多くの財源を投資することができま

す。算定できない経済効果

このほか、算定できない経済効果として、

広域的・一体的な地域整備の

展開

職員の質的向上、行政サービスの高度化・専門化の進展  
質の高い施設整備による行政サービスの向上

住民の利便性の向上

都市のイメージアップ

などがあげられます。

負担とサービスの統一  
合併前の市町村における負担とサービスの差異は、合併によつて統一されることとなります。行政サービスの統一は、今後の財政負担などを考慮して各市町村間の協議により決められます。一般的には高サービス低負担として行われるため、住民の皆さんに直接的な効果をもたらします。

一方、編入合併では、編入先の市町村の負担とサービスに合わせることとなります。これまでの事例では、編入先は規模の大きな市が多いため、負担は高くなりますが、編入される市町村のサービスは向上することが報告されています。